

# MJ SOFT 90 mm F2.8

screw  
M-bayonet

このレンズは、ユニークなライカ用アクセサリーで知られる京都のカメラ店、メディアジョイが発売する国産初のライカマウント用ソフトフォーカスレンズだ。コンセプトは「気軽に使えるライカ用ソフトフォーカスレンズ」。光学系を内蔵したレンズヘッドとヘリコイドを分離。ユーザーが必要な部品だけを買うコンポーネント方式の採用で低価格を実現した。

ライカのソフトフォーカスレンズではタンバールが有名だが、こちらに比べ値段は1/10以下。ローコストでソフトフォーカスの世界が体験できる。

レンズ構成は1群1枚の単玉。型と型があり、型は単層コート。型になってマルチコートに改良された。写りはいわゆるベス単調で、レンズ開放で使うとフレアが盛大に発生。気をつけないと抽象的ともいえる描写になってしまう。落ち着いた描写を望むならば別売りの絞りユニットを取り付けるとよいだろう。また使用するボディがM型ライカの場合、シャ

ッター速度の最高速が1/1000秒までしかないので、露出オーバーを防ぐ意味でも、絞りユニットは必需品だ。なおND4のフィルターも用意されているので、これを使う方法もある。

ちなみにフィルター径はねじ込み式の39mm。ライカのズミクロン50mmなどとサイズが同じなので、ライカユーザーなら使い回しができる。

## 距離計連動だからベストのピント

一眼レフでソフトフォーカスレンズを使用するとき、いちばん困るのはピント合わせだ。MJソフトのように球面収差を利用してソフト効果を得る方式の場合、像をシャープに写し出すピント位置とフレアが最大になるピント位置は一致しないことが多く、慣れないと思うようなソフト効果が得られない。

だがライカのようなレンジファインダー機なら、距離計を使ってピントを合わせれば、そこがベストのピ



エルマー 90 mm F4用のヘリコイドを利用し、ライカ gに取り付けた状態

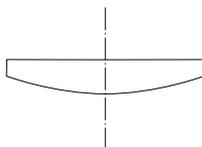


ヘリコイドユニットを利用しニコンF3に装着。この場合、延長リングは不用。別売りのマウントアダプターが必要になる

## MJソフト 90 mm F2.8



MJソフト 90 mm F2.8。右は型を専用ヘリコイドユニットに取り付けた状態。左は型



画角：27°  
レンズ構成：1群1枚  
最小絞り：F11  
最短撮影距離：約1m  
フィルター径：39mm  
重さ：155g（ヘリコイド付き）  
発売：2002年9月  
メーカー：メディアジョイ

シリアルナンバー：B119

# 貴重なタンバールとMJソフトフォーカス

中村 文夫



専用ヘリコイドユニットH-90。左からライカ用延長リング、ヘリコイドユニット、ライカL/M42マウントアダプター



絞リユニット

ント位置になる。ファインダーでソフト効果が確認できないというデメリットはあるが、ピント合わせの失敗は皆無になる。

用意されている絞リユニットはF5.6とF11の2種類。レンズの前からフィルターネジを利用して取り付ける方式で、ラッパ型をしているのはレンズの直前に絞リ穴を置くためだ。

このレンズは、ライカ製エルマー 90 mm F4 を持っているとき最もローコストで楽しめる。光学系を内蔵したレンズヘッドは、エルマーのヘリコイドに合わせて作られているので、エルマーからレンズ部を取り外しMJソフトのレンズヘッドを取り付ければ、すぐに使うことができる。もちろん焦点距離も同じなので、ファインダーのフレームもそのまま利用できる。

エルマーを持っていないユーザーのためには、専用ヘリコイドユニットも用意されている。このユニットは延長リングとヘリコイドユニットで構成され、延長リングを取り外すと一眼レフへの転用が可能。この場合はユニットに付属するライカスクリュー/M42マウントアダプターを取り付け、さらに使用するボディに合わせて別売りのマウントアダプターを用意する必要がある。なおこのヘリコイドユニットにはエルマーのレンズ部も取り付けられるので、一眼レフでエルマーの描写を楽しむ際にも利用できる。

これまで多くの国内カメラメーカーがレンジファ



F2.8



F5.6



F11

F2.8、F5.6、F11の比較。ベッサーR2A、RDP

インダー機用レンズを発売してきたが、ソフトフォーカスレンズはメディアジョイが発売するこの製品だけ。さらに過去から現在に至るまで距離計が連動するソフトフォーカスレンズは、タンバールとMJソフトしかない。そんな意味で非常に貴重な存在といえるだろう。